学校だより
えぞふじ
令和8年10月1日(木)
喜茂別町立
喜茂別小学校
第　7　号
2026 OCTOBER 10

異学年での話し合い活動

校長　古　館　昭　仁



１０月になり、朝晩は肌寒さを感じるようになりました。暑い夏には日差しを避け、日陰を探していましたが、今では反対に、日差しの暖かさを求め、その温もりに心地よさを感じる季節となりました。

さて、昨日、第１回目の通知表を全児童に手渡しました。今年度から、本校では通知表の配付を年２回としました。大きな理由の一つは、前期・後期とすることで評価期間がほぼ同じになり、１年間の子どもたちの成長をより捉えやすくするためです。これまでも記述による評価は年２回としていましたが、今回の変更により、数値による評価と記述による評価との関連も、より分かりやすくなりました。これからの後期に向けて、前期の成果を生かしながら、一人一人がさらに成長していけるよう、全教職員でしっかりと支援・指導してまいります。

９月１７日には、北海道コンサドーレ札幌の小野伸二さんが来校し、児童との交流会を行いました。保護者や地域の方々にも参加していただき、１時間という短い時間ではありましたが、楽しいひとときを過ごすことができました。

小野伸二さんから見せていただいた「プロの技」はもちろん、「サッカーを始めたきっかけ」や「準備することの大切さ」についてのお話も、子どもたちの心に残るものでした。北海道１７９市町村すべてを回り、北海道中にサッカーを広めたいという思いで活動されており、本校はまだ６町村目とのことでした。長い道のりになると思いますが、ぜひ目標を達成していただきたいと思います。

また、２４日には、倶知安人権擁護委員協議会から、蘭越町の徳光さんと本校保護者の米陀さんを講師にお迎えし、人権教室を開催しました。

１～３年生の低学年の部と、４～６年生の高学年の部に分かれ、「友だちになるときに大切なこと」「友だちとして大切なこと」「よりよい学校生活を送るために何が大切か」について、４、５人のグループで話し合いました。

今回行ったのは「ダイヤモンドランキング」という活動です。いくつかの項目について、自分が大切だと思う順に並べ、グループで意見を交流しながら順位を決めていきます。その並べ方がダイヤモンドの形に似ていることから、この名前が付いています。

低学年では、友だちと仲良くするために大切なことを、「何でも話せる」「一緒に遊べる」「話をすると楽しい」「困っているときに助けてくれる」の４つから、まず一人一人が考え、その後、グループで話し合いました。高学年では、９つの項目について考えました。

どのグループも真剣に話し合い、時間内に自分たちなりのランキングを決め、その理由とともに発表することができました。大切なのは、ランキングそのものではありません。「なぜ、それが大切なのか」と理由を伝え合い、友だちの考えを聞きながら、自分とは違う考えにも耳を傾け、互いに折り合いをつけていくことです。

そして、今回の活動で改めて感じたことがあります。それは、学年ごとのグループではなく、異学年のグループであっても、子どもたちが自然に意見を出し合い、活発に話し合えることです。年上の子が年下の子の話に耳を傾け、年下の子も自分の考えをしっかり伝える。こうした姿は、喜茂別小学校の子どもたちの大きなよさだと思います。

これからも、日々の学習や学校生活の中で、学年を越えて互いの考えを聞き、認め合いながら、自分の考えを深めていく経験を大切にしていきたいと思います。

本年度の重点目標

主体的に学び対話を通して思考を深める力の育成
～意欲と優しさをあわせもつ子～



大自然に囲まれた学び舎にふさわしい「きもべつの子」を共に育てましょう！

FIELD TRIP　校外学習で学んでいます

3年生は、京極町のパイオニアフーズやコープさっぽろ、風土館を訪れ、地域の産業や暮らしについて学びました。4年生は定山渓ダムを見学し、ダムの役割や私たちの生活とのつながりについて学習しました。5年生は、芋ほり体験や宿泊学習を通して、普段の教室ではできないさまざまな体験を重ねました。また、6年生は、きもべつ観光協会やきもべつWAOの方々をゲストティーチャーに迎え、地域について学びを深めています。

実際にその場所を訪れたり、地域で活動する方々から直接お話を伺ったりすることで、教室での学習だけでは気付かなかったことを知ることができます。地域を知り、人と出会い、実際に体験することを通して、子どもたちの学びがさらに広がっています。







SPECIAL EXCHANGE EVENT　北海道コンサドーレ札幌との交流会

9月17日、北海道コンサドーレ札幌の小野伸二さんが、横野純貴さんとともに本校を訪問してくださいました。交流会では、子どもたち一人一人が小野さんと1対1でパス交換をするという貴重な体験をしました。小野さんから返ってくるボールをうれしそうに受ける子どもたちの表情がとても印象的でした。また、華麗なリフティングのテクニックが披露されると、その見事な技に会場からは大きな歓声が上がりました。

当日は多くの保護者の皆様にもお越しいただき、子どもたちと一緒に楽しい時間を共有していただきました。小野さん、横野さんと直接触れ合い、サッカーの楽しさを感じる、笑顔いっぱいの交流会となりました。




ART APPRECIATION　芸術鑑賞会　心を動かす、本物の舞台

全校児童で岩内町へ出かけ、芸術鑑賞会で劇団四季のミュージカル「はじまりの樹の神話」を鑑賞しました。

物語の中には、少し怖さを感じる場面もあったようですが、舞台が進むにつれて、子どもたちは演者の皆さんの迫力ある演技や歌、表現にどんどん引き込まれていきました。目の前で繰り広げられる舞台ならではの迫力を、全身で感じることができたようです。

これから学校では、学習発表会に向けた取組が本格的に始まります。声の出し方や表情、体の動きなど、今回の鑑賞で感じたことや気付いたことが、自分たちの「伝える」「表現する」活動にもつながっていくとうれしいです。



HUMAN RIGHTS CLASS　人権教室



低学年と高学年に分かれて人権教室を行い、みんなが安心して学校生活を送るために、友達との関わりの中で大切にしたいことについて考えました。

自分の考えをもち、友達と意見を交流する中で、大切だと思うことや考え方は一人一人違うこと、そして、それぞれの考えを受け止め、認め合うことの大切さを学ぶことができました。

今回の学びを、これからの友達との関わりや日々の学校生活の中でも大切にしていきたいと思います。